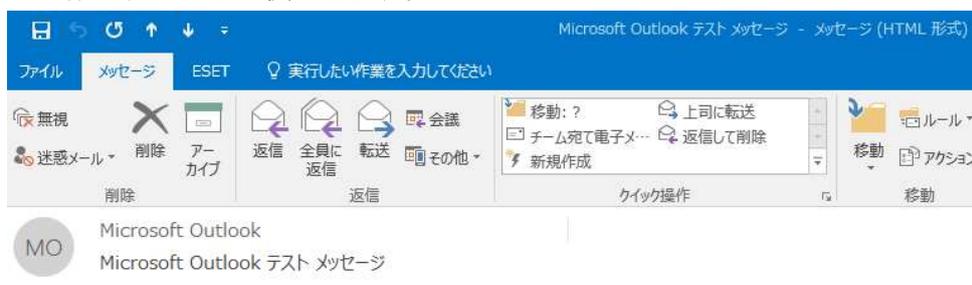


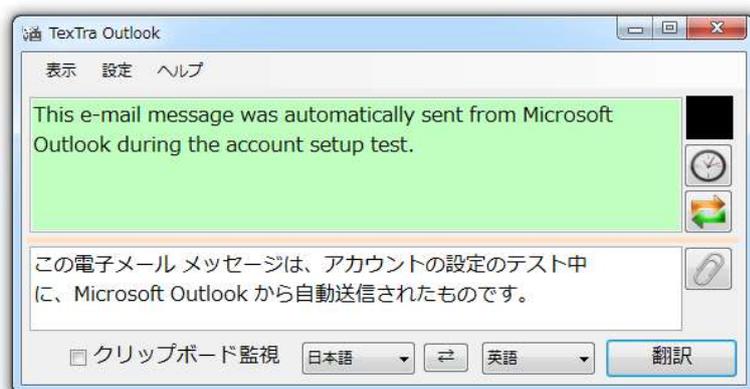
# TexTra Outlook Addin

TexTra Outlook Addinは  
Microsoft Outlook上で翻訳を行うための  
アドインです。

外国語のメールを読むときはもちろん、  
書くときにも  
文の作成、チェックに役立ちます。



この電子メール メッセージは、アカウントの設定のテスト中に、Microsoft Outlook から自動送信されたものです。



# インストール

- ・ インストール  
Setup.exeを実行してください。

Outlookメインフォームの上部メニューに「TexTra」リボンがメニューに追加されます。



※ Outlook起動時に  
「構成システムを初期化できませんでした。」というエラーが発生する場合、  
下記のフォルダ内の「TexTra Outlook」という文字を含むフォルダを  
削除してください。

C:\Users¥(ユーザ名)\AppData\Local\Microsoft\_Corporation

- ・ アンインストール  
Windowsのコントロールパネル>プログラムと機能 から  
「TexTra Outlook Addin」のアンインストールを行ってください。



# みんなの自動翻訳

TexTraOutlook AddinはWebサイト「みんなの自動翻訳」と連携して機能を実現します。  
API設定画面では連携するためのパラメータを入力します。

<https://mt-auto-minhon-mlt.ucri.ign-x.jp/>

「みんなの自動翻訳」はブラウザ上で翻訳を行うためのWebサイトです。  
このサイトの翻訳を補助する機能・データを  
TexTra Outlook Addinから呼び出して利用します。  
(以降、サイト「みんなの自動翻訳」を「Webサイト」と呼びます。)

「メニュー>設定>みんなの自動翻訳」を押すと、  
ブラウザでWebサイトが開きます。



The screenshot shows the TexTra Outlook Addin interface. The 'みんなの自動翻訳' menu item is highlighted in red. A red arrow points from this menu item to the website header of 'みんなの自動翻訳'. The website header includes the logo, the text 'みんなの自動翻訳 @TexTra®', and a language dropdown menu set to '日本語'. Below the header is a navigation bar with links for '翻訳データ', '自動翻訳', and 'ツール'. The main content area features a large heading '自動翻訳を使ってみよう!' and several green buttons: '自動翻訳デモへ', '類似文検索デモへ', '翻訳エディタへ', 'ファイル翻訳へ', and '用語抽出へ'. A chatbot icon with the text 'Hello こんにちは' is also visible.

# API設定

Webサイトと連携を行うために、  
TexTra Outlook Addinでは最初に「API設定」を行う必要があります。



「読み設定」ボタンを押して、  
本アプリをダウンロードした際に、  
zipファイルに同梱されている「setup.ini」を指定してください。  
API設定が自動で行われます。

「setup.ini」の内容を  
手動で本画面に貼り付ける方法でも結構です。

※ この画面で入力するサーバURLは  
「翻訳設定」の項で説明される  
「機械翻訳APIのURL」ではありません。

Webサイト「みんなの自動翻訳」からも設定は取得可能です。  
ログイン後、メニュー>ツール>WebAPIを選択します。



Web API一覧からいずれかのURLボタンを押します。



表示された画面から「APIKey」「API Secret」をコピーして  
TexTra Outlook AddinのAPI設定画面に貼り付けます。

リクエストURL	https://mt-auto-minhon-mlt.ucri.jgn-x.jp/api/list/term/
API key	0bdf2f53550ebd91dd699fe6fba2f16a054b
API secret	f5ba4c64744384a8b21b3b446b3

ユーザ名にはWebサイトログイン時のユーザIDを入力してください。

API設定

保存 閉じる 読込設定 出力設定

ユーザ名 user\_name

API Key 0bdf2f53b50ebd91dd629fe6fba2f16a054edaef0

API Secret f5ba4c61744382a8b21c3b446d386d4a

サーバURL https mt-auto-minhon-mlt.ucri.jgn-x.jp 初期化

※プロキシ設定はWindows、Internet Explorerで行ってください。

user\_name

パスワード

ログイン

API設定

保存 閉じる 読込設定 出力設定

ユーザ名 user\_name

API Key 0bdf2f53b50ebd91dd629fe6fba2f16a054edaef0

API Secret f5ba4c61744382a8b21c3b446d386d4a

サーバURL ① https mt-auto-minhon-mlt.ucri.jgn-x.jp 初期化

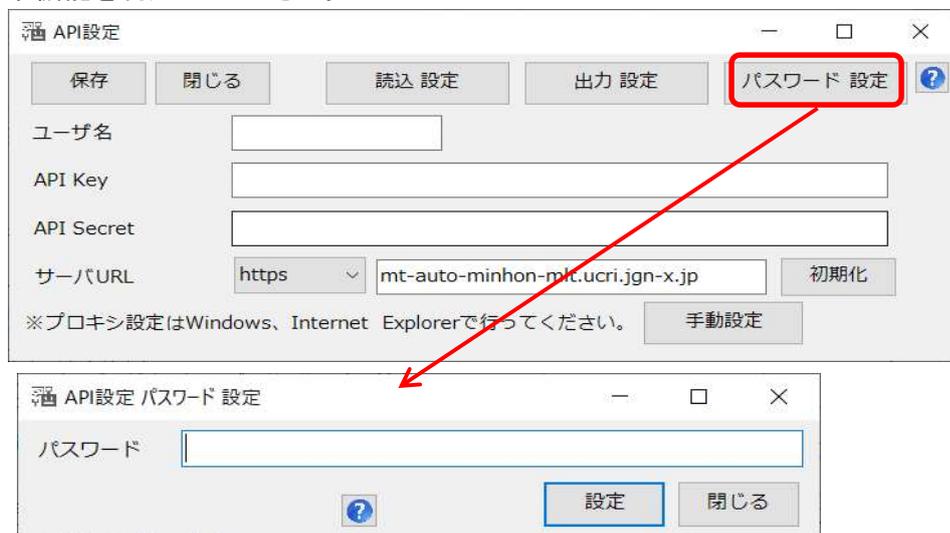
※プロキシ設定はWindows、Internet Explorerで行ってください。

- ① APIサーバの設定です。  
通常、変更する必要はありません。  
URLを変更する場合は、  
プロトコル(http、https)の設定も行ってください。

※ 必要である場合、  
プロキシサーバ管理者に下記情報をお知らせください。  
ユーザーエージェント => 「TexTra Outlook NICT」

- ・ パスワード設定(管理者向け)  
API設定画面を開くための  
パスワードを設定します。

API設定を管理者側で行い、  
アプリユーザに設定を見せたくない、という場合に、  
本機能を利用してください。



パスワード入力画面でリセットボタンを押すと、  
パスワードとAPI設定が消去されます。

- ・ 自動設定読み込み(管理者向け)  
API設定を未設定時に  
API設定を自動で行う機能です。  
(API設定画面パスワードも設定されます。)

インストーラー、または、手動で  
インストールフォルダ(本プラグインのvstoファイルがあるフォルダ)に  
「api.ini」という名前の設定ファイルを配置してください。

設定ファイルは  
API設定画面でAPI設定を入力した後、  
「出力 設定」ボタンで出力してください。  
(設定ファイル内のパラメータは暗号化されます。)

API画面を開いた際、  
ファイルから設定を読み込むかどうか、  
メッセージが表示されます。



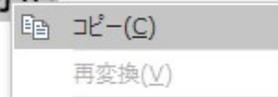
このメッセージを表示させたい場合は、  
API設定を消去してください。

# 翻訳

Outlook上のテキストを翻訳します。  
 原文は手動入力の他、  
 クリップボードを利用したの入力もできます。

翻訳したいテキストをコピーします。

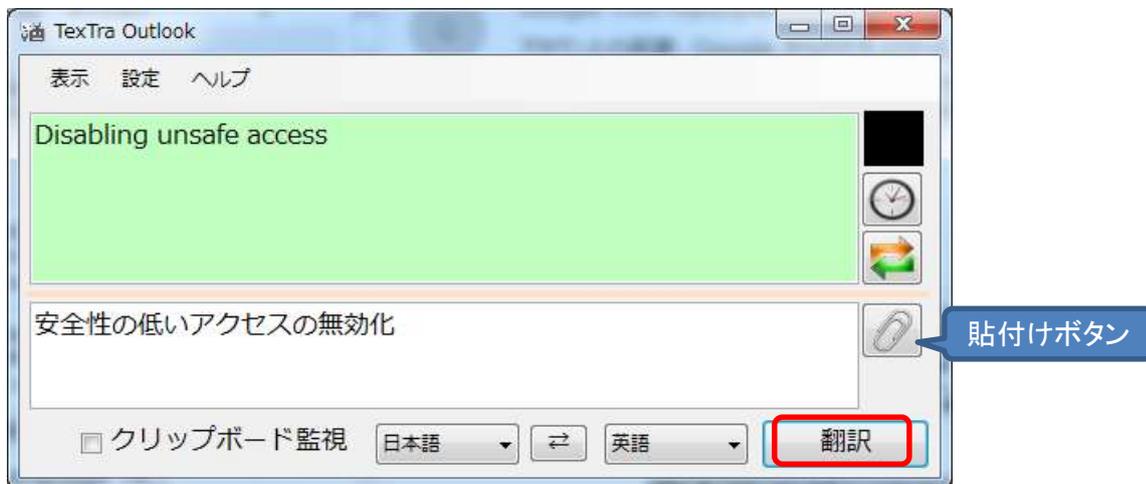
安全性の低いアクセスの無効化



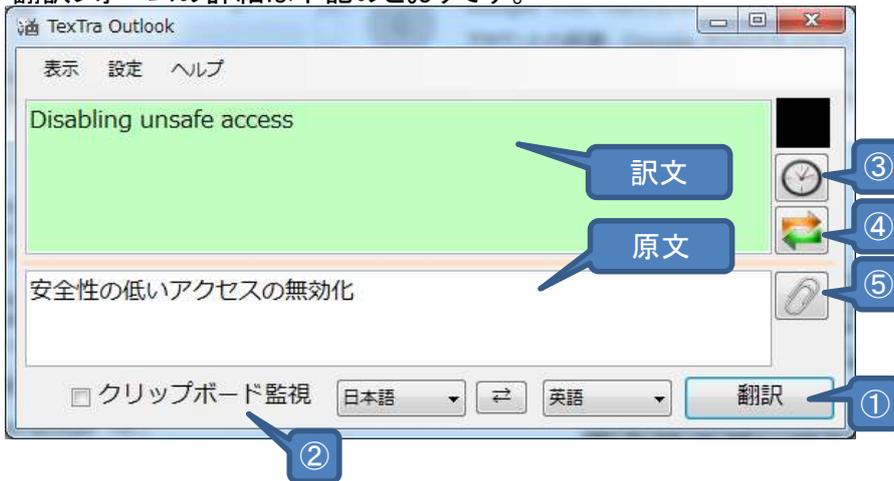
リボンの翻訳ボタンを押します。



表示されたフォームで  
 貼付けボタンを押した後、  
 翻訳ボタンを押します。  
 ※原文は手動で入力することもできます。



翻訳フォームの詳細は下記のとおりです。



- ① 原文テキストボックス内のテキストを翻訳します。
- ② クリップボードにテキストをコピーするたびに自動で原文に貼り付けます。  
(テキストが翻訳以外に使われることはありませんが、個人情報やパスワードなどが送信されないようにお気をつけください。)
- ③ 翻訳履歴を表示します。
- ④ 原文と訳文を入替えます。  
同時に、言語を入替えます。
- ⑤ クリップボードの内容を原文に貼付けます。  
ショートカットはCtrl+Vです。  
原文内で通常の貼付けを行いたい場合はCtrl+Shift+Vで行ってください。

# 逆翻訳

翻訳文の翻訳を行います。  
正しく翻訳が行われているか、確認できます。

